決算説明会資料

2027年3月期　第2四半期(中間期)
2026年4月～2026年9月

株式会社カーメイト

2026年11月17日

■ 2027年3月期第2四半期(中間期) 連結業績の概要

- 総括
- 経営成績
- 通期業績見通し

企業理念

CREATE - 創造 -

やってみる精神でオンリーカーメイト

経営理念

未来に向けた信頼品質でeモノづくり

- 安全安心で人とテクノロジーの調和を実現
- ESG 企業として地球環境に貢献
- 世界中のお客様から 120%の価値でご満足を

2027年3月期第2四半期(中間期) 連結業績の概要

総括

代表取締役兼社長執行役員　徳田勝

■業績ハイライト

売上高　63億 84百万円　前期比　増収（ +1億88百万円　3.0%増）

営業損失　△1億19百万円　前期比　損失縮小（+88百万円）

■セグメント別実績

（百万円）

事業別(部門)	2027/3-Q2	構成比(%)	2026/3-Q2	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	6,384	100%	6,195	100%	188	3.0%
車関連	5,797	91%	5,721	92%	76	1.3%
（車用品）	1,616	25%	1,628	26%	△ 12	△0.8%
（運搬架台・タイヤ滑止）	1,221	19%	1,209	20%	11	1.0%
（ケミカル類）	2,378	37%	2,198	35%	180	8.2%
（カメラ・電子電気機器）	581	9%	684	11%	△ 103	△15.1%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	586	9%	474	8%	111	23.6%
営業損益	△ 119	―	△ 207	―	88	―
車関連	358	―	331	―	26	―
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	21	―	0	―	21	―
全社費用	△ 499	―	△ 539	―	39	―

■TOPICS（上半期）

◇ 車用品 （前年同期比 △0.8%）

- 車種専用品の売上好調、汎用品苦戦
- チャイルドシート事業は一定の回復も伸び悩み



◇ 運搬架台・タイヤ滑止 （前年同期比 +1.0%）

- ルーフラック類の新製品が好調に推移
- 値上効果による原価率改善



◇ ケミカル類 （前年同期比 +8.2%）

- 中国国内向け販路拡大
- 芳香剤も堅調に推移





◇ カメラ・電子電気機器 （前年同期比△15.1%）

- 「爆風ハンディファン」を発売し好評を得る
- ドライブレコーダー、光源事業が苦戦





◇ アウトドア・レジャー・スポーツ （前年同期比+23.6%）

- スノーボード関連事業の前倒し出荷





2027年3月期第2四半期(中間期) 連結業績の概要

経営成績

執行役員　経理部長　矢嶋純一

◆ 経営成績

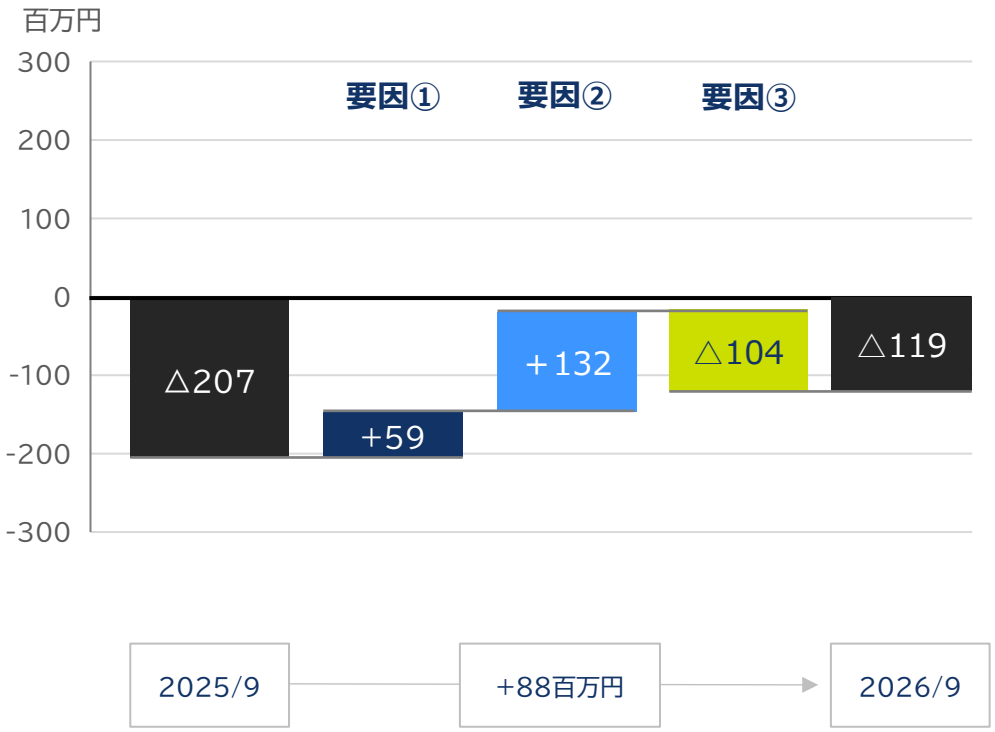
(百万円)	2027/3-Q2	構成比(%)	2026/3-Q2	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	6,384	100.0%	6,195	100.0%	188	3.0%
車関連事業	5,797	91%	5,721	92%	76	1.3%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	586	9%	474	8%	111	23.6%
営業損益	△ 119	△1.9%	△ 207	△3.4%	88	–
車関連事業	358	–	331	–	26	8.1%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	21	–	0	–	21	6414.2%
全社費用	△ 499	–	△ 539	–	39	△7.4%
経常損益	△ 50	△0.8%	△ 177	△2.9%	127	–
中間期純損益	△ 31	△0.5%	△ 253	△4.1%	222	–
一株当り中間純利益	△ 4	–	△35円	–	–	–
一株当り純資産	2,190円	–	2,053円	–	–	–
一株当り配当金	18円	–	15円	–	–	–

NOTES

売上高　：ケミカル類、爆風ハンディファン、スノーボード関連　寄与

営業利益　：ケミカル類、車種専用品が利益貢献

◆営業利益分析



要因① 売上高増減による粗利の増減	
車関連	+31
アウトドア	+28
要因② 原価率増減による粗利増減	
車関連	+110
アウトドア	+22
要因③ 販売管理費の増減	
車関連	△114
アウトドア	△29
全社費用	39

+値は増益、△値は減益

NOTES

要因② ： セールスミックスによる利益改善

要因③ ： 販売費及び一般管理費増加は下期に発売する新製品の開発費負担

◆貸借対照表の増減

自己資本比率75.9%　+2.9P

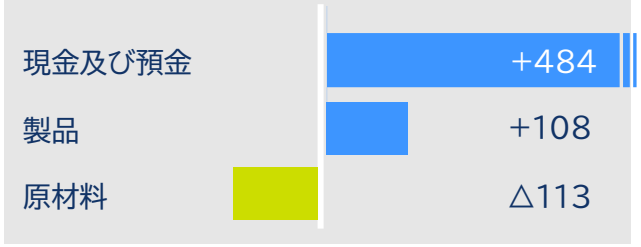
2026/3 Q2
総資産19,851百万円

+509百万円

2027/3 Q2
総資産20,361百万円

流動資産

16,376 → +524 → 16,900



現預金 ： 香港子会社固定資産売却収入

負債

（百万円）

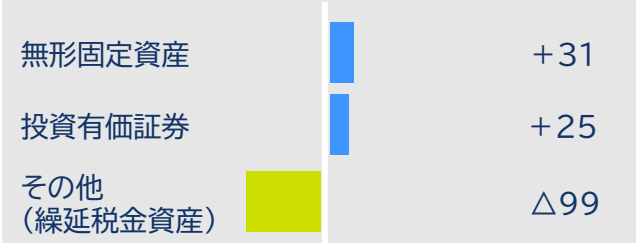
5,364 → ▲453 → 4,911



仕入債務 ： 取適法対応によりサイト短縮

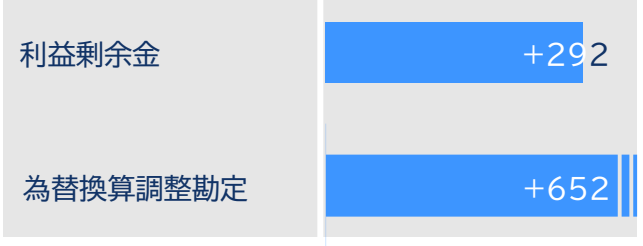
固定資産

3,475 → △14 → 3,461



純資産

14,487 → +962 → 15,449



為替調整 ： 円安／対人民元･米ドル

◆キャッシュフロー

（百万円）	2027/3-Q2	2026/3-Q2	増減額
営業活動 キャッシュフロー	△857	△483	△374
税金等調整前中間純損益	△45	△337	291
減価償却費	31	20	11
売上債権の増減	△324	△98	△225
棚卸資産の増減	△426	△140	△286
仕入債務の増減	154	322	△168
そ の 他	△247	△250	2
投資活動 キャッシュフロー	△145	△219	74
フリーキャッシュフロー	△1,002	△703	△299
財務活動 キャッシュフロー	△249	△268	18
キャッシュの増減	△1,187	△1,094	△92
キャッシュ 残 高	7,868	8,551	△682

3ケ月超定期預金	2,217	1,050	1,167
現金及び預金	10,086	9,601	484

2027年3月期第2四半期(中間期) 連結業績の概要

通期業績見通し

代表取締役兼社長執行役員　徳田勝

◆売上計画

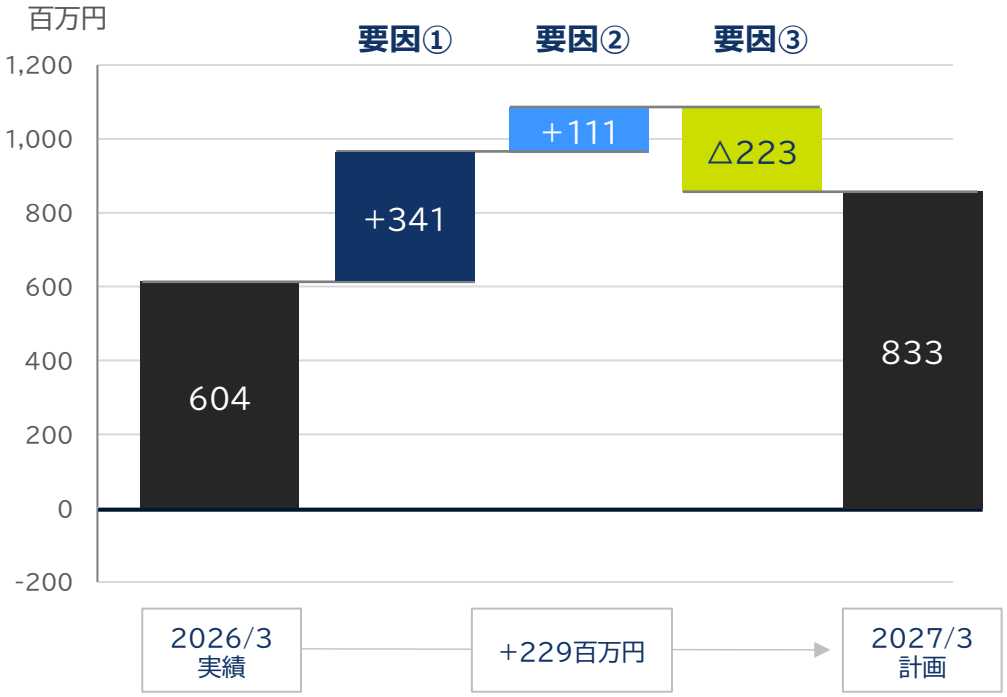
(百万円)	2027年3月期	構成比(%)	2026年3月期	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	15,380	100.0%	14,563	100.0%	817	5.6%
車関連事業	13,650	88.8%	12,854	88.3%	795	6.2%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	1,730	11.2%	1,709	11.7%	21	1.2%
営業利益	833	5.4%	604	4.2%	229	38.0%
車関連事業	1,616	—	1,424	—	191	13.5%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	279	—	267	—	12	4.6%
全社費用	△1,063	—	△1,087	—	24	-
経常利益	886	5.8%	653	4.5%	233	35.7%
当期純利益	569	3.7%	281	1.9%	288	102.7%
一株当り当期純利益	80.78円	—	39.86円	—	—	—
一株当り純資産	2,206円	—	2,155円	—	—	—
一株当り配当金	36円	—	30円	—	—	—

＊期首予想から変更無し(配当除く)

NOTES

新製品投入と新規チャネルの拡大を見込む

◆営業利益計画



要因① 売上高増減による粗利の増減	
車関連	+334
アウトドア	+7
要因② 原価率増減による粗利増減	
車関連	+93
アウトドア	+18
要因③ 販売管理費の増減	
車関連	△235
アウトドア	△12
全社費用	+24

+値は増益、△値は減益

NOTES

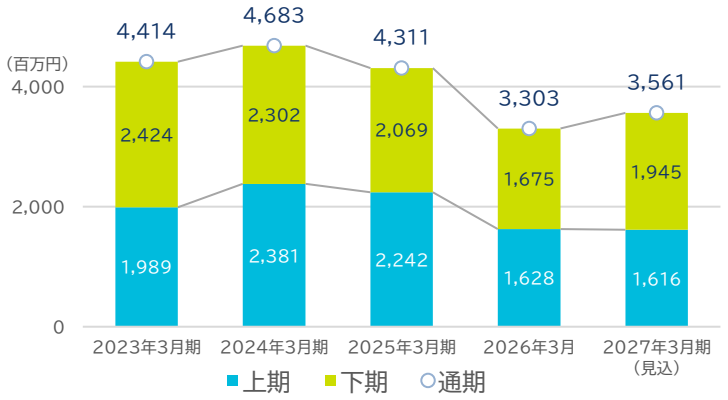
要因② ： 増収効果を見込むも原材料費価格高騰により原価率圧迫

要因③ ： 販促費も増加見込み

■部門別計画

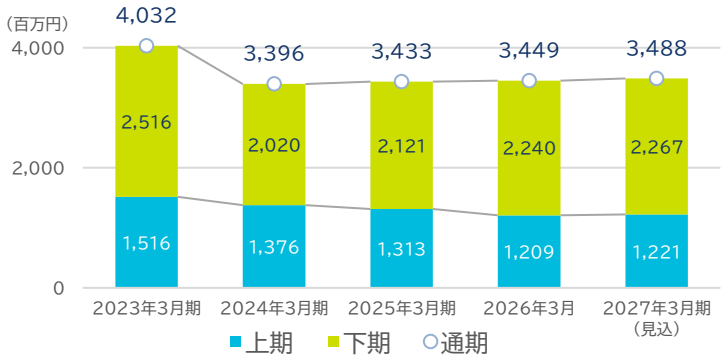
◇ 車用品

- 国内外純正部品の売上拡大
- 27年春新製品投入



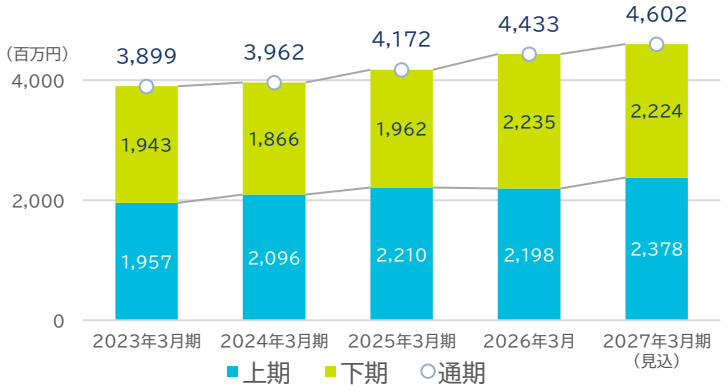
◇ 運搬架台・タイヤ滑止め

- 国内外の展示会出展強化
- タイヤ滑止め適合拡大「イージーフィット」



◇ ケミカル類

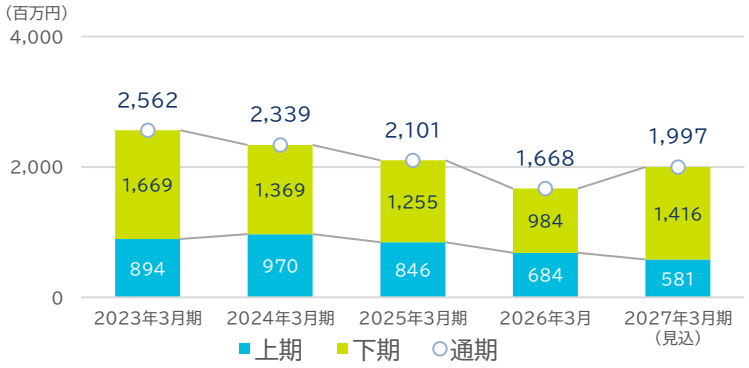
- 防雨・防雪フィルムの拡販および新規チャネル拡大
- 芳香剤新製品投入(NB品・OEM品)



■部門別計画

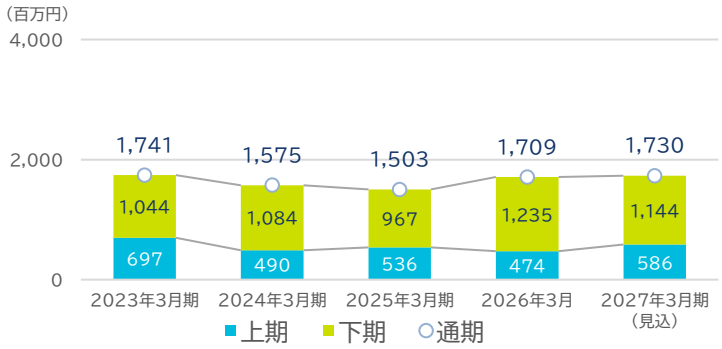
◇ カメラ・電子電気機器

- ドライブレコーダー新型機種投入
- エンジンスターター、光源事業の縮小市場への対応

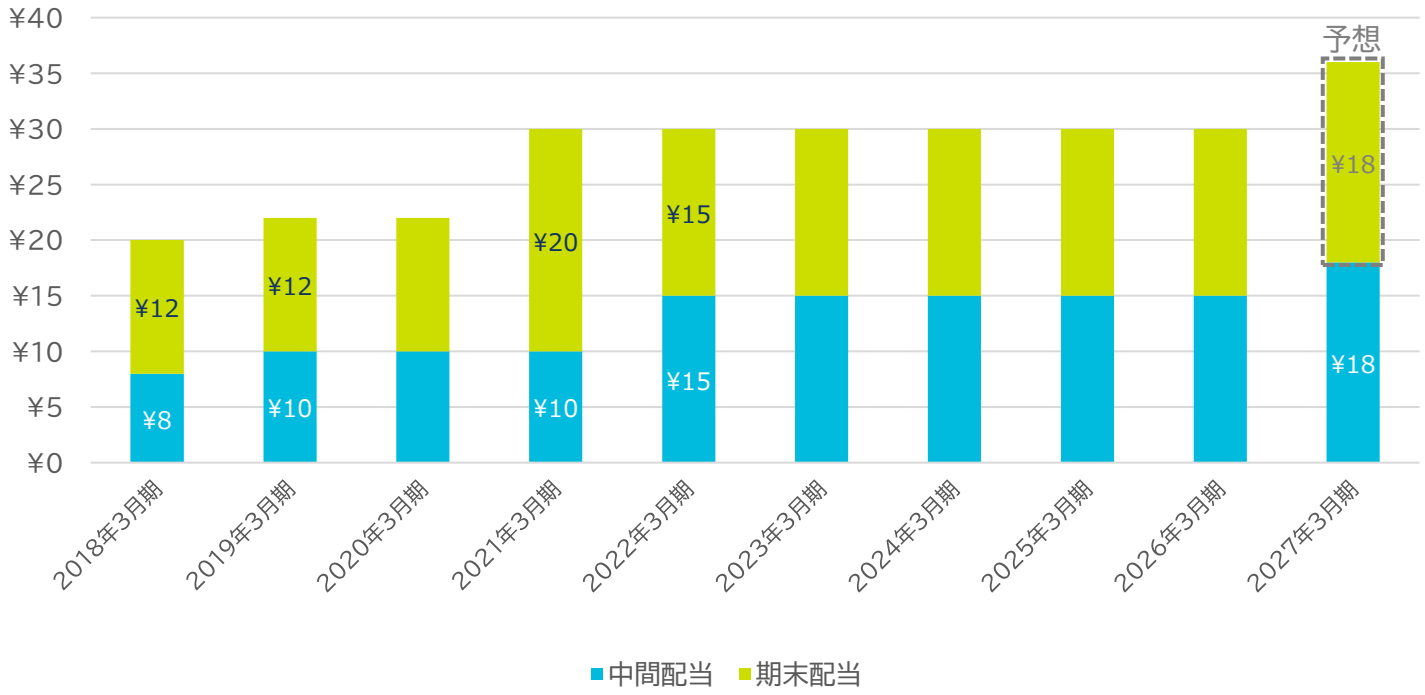


◇ アウトドア・レジャー・スポーツ

- 中井孝治氏プロデュース新ブランド「NAGARE STIX」
- 小型モビリティ「e-FREE」限定モデル投入



■配当予想



NOTES

2027年3月期の中間配当は、普通配当15円に加え、60周年の感謝の意を込め記念配当3円を実施し、一株当たり18円に



注意事項
本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことを御了承ください。